

【単元の目標】

「働く意義」や「生き方」について、講義や体験活動、調べ学習での学びを**ポスターにまとめ、共有する活動**を通して、働くことの意義や社会のルール・マナーを守ることの大切さを知り、**今後の学習や生活の在り方を積極的に生かすことができるようにする。**

【単元の評価規準】

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に取り組む態度】
①働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていることに気づいている。 ②今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	① 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類している。 ②相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な表現をしている。	①課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。 ② 仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。

【子どもの振り返り】

「やりたい」という気持ちで将来の夢(職業)を決めるのではなく自分に適しているか、また自分にやりがいがあるかも、**確認し将来の夢(職業)を決めなければならぬ。**
 先を見通して行動する。
 自分のためだけでなく**誰かのためを思って行動すること**が大切。
 社会のしくみ、まわりを理解しなければならぬ。
 仕事や学校があるありがたさ、お金の使用方法も学ばなければならぬ。
 目上の人には、**敬語などの礼儀をきちんと守る。**
 職業、進路は、**しんちょうに考える。**

【「より明確なライフプランを作るにはどんなことが必要か」に対する自分の考え】

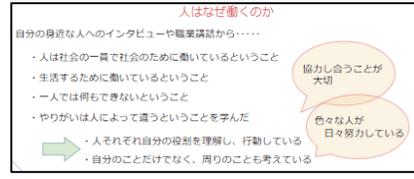
自分が調べたことや、みんなの発表を聞いて考えたことは、**ライフプランも具体的にすると日々の行動に計画性が生まれ、必要なことに自分から取り組むようになる**ということだ。そのために、**自分は必要な基本的な知識と身に付けてゆくと**思いました。
礼儀

【「より明確なライフプランを作るにはどんなことが必要か」に対する自分の考え】

- 一、**自分の未来を具体的に見越す!**
- 一、**夢は理想。叶えられないかもしれないから他の選択服も!**
- 一、**や、でいて楽しい仕事は自分のためになる。楽しいものを!**
- 一、**生きているということは、かりではなりのことを頭に入れる!**
- 一、**大人になつて、医師になつて満足したい! 常に向上心を!**

【要因】

①**ゲストティーチャーの講義や体験活動、調べ学習による学びをポスターにまとめ、共有する場面を設定することによって、自分の考えと他者の考えを比較し、これまで持っていた価値を深めたり、新たな価値に触れたりすることにつながったと考えられる。**



②**考えの共有によって深められた価値を振り返り、再度、得られた情報を整理することで、職業人として必要な資質や能力を分析し、ライフプランの作成に活用することができたと考えられる。**

○自分の理想とする人生を年表で表してみよう。

西暦	年齢(学年)	どんな自分だったか
2022	14(中2)	定評子で、自分から満足できる順位まで! 英語の基礎知識を身につけ、書写体験や第一志望合格!! やりがいも大切にしたい!!
2023	15(中3)	進路と勉強を両立し、充実した高校生活をおくたい!!
2024	16(高1)	将来の夢を決定したい!!
2025	17(高2)	大学受験のために必要な知識!!
2026	18(高3)	高校生活の思い出を振り返り、進路を決めたい!!
2027	19	就職先、つづつのはじめたい。楽しみたい!! 大切な仲間と協力して!!
2028	20	働くことに決めた!!
2038	30	毎年必ず、同じような一年にやりがいを持って、メリハリをつけて生活したい!!
2048	40	仕事や生活の質を高めたい!! 趣味も楽しみたい!!
2058	50	趣味も楽しみたい!!

○工夫したポイント・これまでの学習を参考にしたこと

・4月と比べて、何をどうしたいのか、何を目指すのか、を具体的に書くようにし、目標を可視化したこと。

・上級学校はいろいろな選択肢があるため、将来の夢を叶えるために必要な学習を、それに向か、7月からできることを書いた。

【言えそうなこと】

本単元では各教科との連携として、国語科において考えを整理する方法(ポスターセッションを採用)を用いたり、家庭科において家事体験や弁当づくりの方法を活用したりした。教職員間の情報交換や教育課程の共通理解を行えたことで、事前にどのタイミングでどの学習を行うと有効か判断することができたといえる。

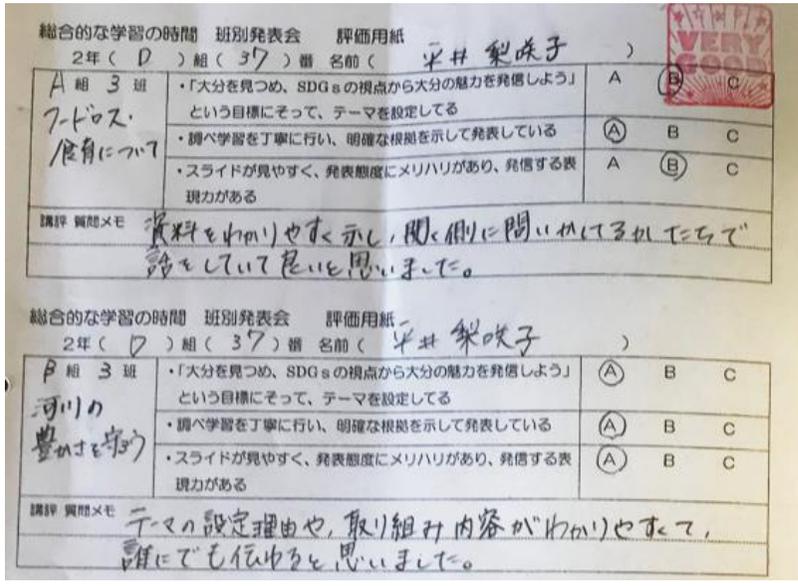
まとめ・表現プロセスにおいては、学年総合の利点を活かして、他の学級の生徒との交流をすることで、考えを広げたり、深めたりすることにつながると考える。

【単元の目標】

自分たちの住んでいる大分について、SDG s の視点からグループごとに課題を設定し、調べ学習や発表する活動を通して、大分には様々な魅力があることに気づき、望ましい社会の在り方とそこで生きる自分の姿をイメージすることができる。

単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】	小単元 1	小単元 2
自他の意見や考えやよさを生かしながら、大分の魅力発信に向け、協働して学び合おうとする	大分の魅力について、調べたいことを明確にして、発表原稿を作成しようとしている	<p>① 班別発表会で他のクラスからの意見を参考にグループのメンバーと協力し、学習発表会に向けてスライドを作成しようとしている</p> <p>② 大分と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。</p>

【子どもの振り返り】写真またはテキスト



【要因】 ※教師の手立て（指導の立場からの分析）

① 端末を活用し、SDG s の視点から大分の魅力や課題について 4 人班で調べ学習をした。また、この単元の前には全ての班で大分の農業の課題について調べ、発表までの手順を示した。そのことが、この単元において、調べ学習→発表までの流れの見通しにつながった。



② 学習発表会に向けて、班別発表会（中間発表）を行った。明確な根拠を示して発表しているか、スライドの見やすさ、発信する表現力等の視点で班ごとにアドバイスをし合う機会をもった。このことで、最後の発表に向けて改善・修正を図ることができた。

【言えそうなこと】

最後に振り返りをした時に、来年度も大分のことについて調べたいという意見が多く見られた。来年度も生徒の発想を大切に、主体的・創造的な学習活動を展開していきたい。

【単元の目標】
 10年後の25歳をよりよく生きるための資質・能力を、現代社会の課題について調べたり、**メッセージ動画を制作したりする活動**を通して、情報を収集し、15歳の自分を見つめなおすとともに、**地域社会の一員として主体的に行動する自己実現力を身に付ける。**

単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に取り組む態度】
①10年後をより良く生きるための資質・能力について、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見出すことができることに気付いている。 ②収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。	①10年後をより良く生きるための 資質・能力について、現代社会との関わりの中から課題を設定し、見直しをもっている。 ② 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 ③相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な表現をしている。	①課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。 ② 10年後に向けての資質・能力と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。

【子どもの振り返り】

16日と余裕を結ぶわけが。自身進捗のためは捉えたいという
 意図がしっかり伝わって良かった。私、最初の予定は違う画角で構成に
 臨機応変に変えたのが、動画全体の雰囲気や印象に効果があったことがわかった
 だった。見た人の心に残るすてきな動画になったと思われ、監督に感謝したい。

【自分の周りの人】
 中学生の自分からは見えない視点もたくさんあると思うが、
 母親や家族や友達、様々な分野の話をし考え方を広げたい。今回の
 動画に関するテーマについて話せば、家族も知ることが多かったこと、分かったところ、
 自分受け取りやすいように、自分の調べたこと、考えにこれを共有しけりたにしたい。

【地域社会】
 15年後には私たちが社会の新しい担い手になるので、
 自分の地域の受け継いがかたげればならない部分、課題となっている部分をしっかりと
 把握し、自分の考えを持ってにしたい。地域の社会は、多様化、グローバル化が進んで
 いると思うが、様々な人と交流し、自分自身の考えの幅を広げておきたい。

【要因】

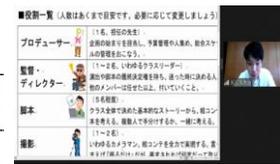
①**ゲストティーチャーの講義や中間発表会を設定によって、自分たちの計画や実際の動画について振り返ることができ、他者に自分の考えが伝わるような表現方法の改善につながったと考えられる。**

差別との関係性がこの動画からかんじられなかった
 最後の「うん」のところはなくてもよいと思った。
 最後の声の大きさが少し小さかった

②**動画と課題を他県の中学校の生徒と共有し、意見を交換する場を設定したことで、10年後に向けての資質・能力と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えることができたと思われる。**

【言えそうなこと】

まとめ・表現プロセスにおいては、相手意識・目的意識を明確にもたせるとともに、多様な他者との交流による外部評価（フィードバック）と、それを整理・分析して具体的な改善方策を見いだす場の設定が重要ではないか。



差別との関係性がこの動画からかんじられなかった
 最後の「うん」のところはなくてもよいと思った。
 最後の声の大きさが少し小さかった

